

第 3 編

国 際 交 流 関 係 施 設

- 1 札幌国際交流館 15
- 2 札幌留学生交流センター 16

1 札幌国際交流館 (Sapporo International Sports Hall)

札幌国際交流館は、市民と外国人が気軽に交流できる機会を創出するとともに、地域の国際交流の拠点施設として、1996年（平成8年）4月、国際協力事業団 北海道国際センター（現 独立行政法人国際協力機構（JICA）北海道センター（札幌））に隣接して設置された。

施設内には体育室、プール、トレーニングコーナーのほか、交流サロンや可動式観覧席を有するホールが設けられ、JICA 研修員をはじめとする外国人と市民がスポーツなどを通じて互いの交流や親善を深める場として利用されている。

【施設概要】

- ① 開設 1996年（平成8年）4月1日
- ② 場所 白石区本通16丁目南4番26号
- ③ 規模 鉄筋コンクリート造、地上3階建て
敷地面積 3,806㎡、延床面積 3,809㎡
- ④ 施設内容 体育室（738㎡）、温水プール（25m×4コース）、トレーニングコーナー、
ホール（243㎡、200席）、交流サロン
- ⑤ 建設費 約15億5千万円

【施設利用状況】

	個人利用			専用利用		
	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度
体育室	13,131人	4,469人	992人	5,392人	4,600人	1,173人
プール	28,177人	14,539人	2,777人	18人	0人	0人
ライラックホール	—	—	—	610件	480件	6件

2 札幌留学生交流センター (SAPPORO INTERNATIONAL STUDENT CENTER)

札幌留学生交流センターは、札幌市内や近郊の大学、専修学校等に通う留学生に良質で快適な住まいを提供するとともに、留学生と市民の交流機会を創出する拠点施設として、2000年（平成12年）4月に（財）内外学生センター（現 独立行政法人 日本学生支援機構。（財）内外学生センターの廃止に伴い、2004年（平成16年）4月に継承）と共同で設置された。2018年（平成30年）3月末には、同機構所有分を譲り受け、札幌市の単独所有となっている。

施設内には、留学生向け宿舎として単身者用宿泊室80室、世帯用宿泊室20室のほか、市民と留学生等との交流を深める場として、交流ラウンジ、軽スポーツ室、会議室などが設けられている。

【施設概要】

- ① 開設 2000年（平成12年）4月1日
- ② 場所 豊平区豊平6条6丁目5番35号
- ③ 規模 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上11階、地下1階建て
敷地面積 3,264.44 m²（札幌国際ユースホステルと共用）
延床面積 5,022.28 m²
- ④ 施設内容 単身者用宿泊室 80室（約18 m²/室）、世帯用宿泊室 20室（約36 m²/室）、
パントリー、交流ラウンジ（118.17 m²）、軽スポーツ室（175.59 m²）
会議室（会議室A；33.08 m²、B；35.29 m²、C；37.74 m²、可動間仕切壁を開放した使用も可、
談話コーナーも含め最大利用可能面積は166.37 m²）
- ⑤ 建設費 約14億円（札幌国際ユースホステルを含む）

【施設利用状況】

宿泊室

2023年（令和5年）3月31日現在

区分	室数	入室数 (率)	入居人数				
			許可を受けた者		同居者		
			男性	女性	配偶者	子ども	
単身者用宿泊室	80	71 (88.8%)	71	37	34	—	—
世帯用宿泊室	20	15 (75.0%)	38	12	3	14	9
合計	100	86 (86.0%)	109	49	37	14	9

会議室

利用月	2022年										2023年			合計 (月平均)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月※		
件数	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	24	24(0)	

※ 2020年（令和2年）5月及び12月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、原則、貸出を停止していたが、2023年（令和5年）1月より貸出を再開している。